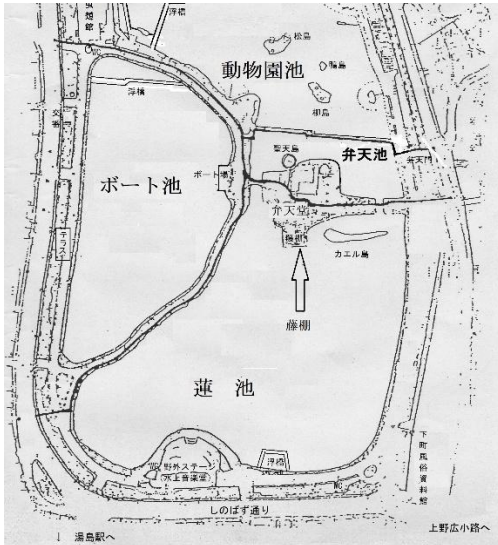


## しのばず自然観察会より 2025-11 2025.11.30

2025年12月の活動 不忍池水鳥個体数調査 12月21日(日)



集合:午前 9 時 15 分 緑の小旗あり

不忍池 弁天堂南側藤棚ベンチ・テーブル

今回は雨天実施

持物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具、防寒着  
(マスク、敷物、昼食、文挾か下敷き、数取器)

解散は午後1時頃、上野動物園西園内の予定  
参加費不要

動物園入園料はしのぼず自然観察会が負担  
(入園時には各自、立て替えてください)

数取器が必要な方は前日までに小川へ連絡を

2025年11月9日(日)の不忍池定点観察は、雨天のため中止しました

## しのばず自然観察会 50 年史まもなく完成

お待たせしました、『私たちの上野公園―しのばず自然観察会 50 年史』(A5 判 カラー刷り 約 90 ページを含め約 300 ページ)はようやく校正を終え印刷所に入り、12 月 15 日発行のはこびとなりました(出版元は台東区谷中にある地湧社)。会員、資料交換団体と関係者やお世話になった個人、団体、機関の方々には、12 月下旬に順次お届けします。

長い間出版を待ってくださった会員の皆さん、執筆者のみなさん、出版を支えていただいた方々にお礼を申し上げます。

なお、『50年史』は自費出版ですが、出版と定価のコードを付ける予定です。そうすることで、全国の書店で取り寄せ注文していただければ、中継ぎシステムを通して出版社からその書店に届くようになります。お急ぎの場合やまとめ買いの際は、しのばず自然観察会まで連絡・相談いただければ、送料がかかりますが、直接送るので早く届けられるようにする予定です。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円

※※2024年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ※※



## 2025年11月の活動 不忍池 定点観察 11月9日(日)より

なお、『50 年史』は出版と定価のコード等(日本図書コード: 国際標準図書番号 ISBN に、読者対象・発行形態・内容分類を表す C コードと本体価格を加えたコード)を付ける予定ですので、このコードをつけて全国の書店で注文していただければ、中継ぎシステムを通して出版社からその書店に届くようになります。お急ぎの場合やまとめ買いの際は、しのばず自然観察会までご連絡・ご相談ください。送料がかかりますが、直接送るので早く届けられます。

### 9月の観察会から 小川千恵子

2025.09.21 9:17

いつものバス停で降りる。足が下に着くと同時に足元からシオカラトンボが飛び出す。おもわず「オーッ！」と声が出て、見送る。地面で休息中だった？

池そばのベンチの前方をカルガモ 3 羽が泳ぐ。目の前の草地にスズメ 4 羽が歩く。背の低いメヒシバの枝をしごくように実を採っている。これが本来のスズメの食餌の仕方なんだと気づく。シジミ蝶が飛ぶ。ドバトが歩道を 8 羽歩く。立ってみているとドバトもスズメも寄って来る。餌がもらえぬとわかったのか、南の方へ行く。

浮き橋の北の地面からコロコロコロと虫の音がする。ドバトが浮き橋の手すりに 6、床に 18、足を折りたたんで丸くなっているのやらチョコチョコ歩きまわるのやら。

いかだにカルガモ 5 羽、横の木に 3 羽、2 羽が泳ぐ。計 10 羽。

ボート池の水は、今日はやけに緑色。大きなコイも、水面に上がって来た時に見える程度で中を泳いでいるコイは見えない。

池北側にあるジュズダマは刈られてはいたが、そのあとで出てきた 30~40cmの高さのジュズダマは、実が付く。

ひっくり返したボートの東から 8 番目にカルガモ 1 羽が立つ。その南の水面を 1 羽が西の方へ泳ぐ。と、ボート上のカルガモも降りて、一緒に西の方へ。ボート 15 番目にカメ 1 匹。ボートはカメが上がるように低くなっていて、端は斜めになっている。高さが異なるのでカメが上がるのと上がれないのとがある。カワウ 2 羽が北から頭上を飛んで、1 羽は近くの水面へ、1 羽は南へ飛んで行く。

池北の地面にはメヒシバが多く、オヒシバは少し。シマスズメノヒエ。黄色の蝶が飛ぶ。

桜・関山(カンザン)の下に紫の花ヤブラン。アジサイは 30 cmの高さに刈られてしまったが、下から小さい葉が出ている。

バス通りから公園に入ったところに、避難の時の一時集合場所の看板が立つ。その上にカラスが止まり、低い声でカッカッ！と嘴を合わせるように鳴く。と、動物園方向の高い位置からカーカーと澄んだ声がきこえる。看板上のカラスは応えるかのように短くカッカッと鳴いたあと響く声でカーアカーアと鳴く。これへの応えは聞こえない。そのあと、またカッカッ、と嘴を合わせ

て鳴いて飛んで行ってしまった。

ハンノキの南にある桜の木の南にはネコジャラシが多数あって、下はヤブガラシが広がる。アカマンマ、メヒシバ。

ガンジシ像手前の大きなアキニレの下、池のふちにカルガモ 14 羽。全員集合？丸くなって眠っているのもある。

ヒガンバナ 6 本が伸びてきている。そろそろ咲きそう。ガンジシ像と鳥モニュメントの間で道路を挟んで反対側(西側)の植え込みの中、何かの桜の新しい切り株！高さ 70 cm 位で切られ、直径 30~40cm 位。この桜の木、帰りに見ると地面スレスレに切られていた。

鳥モニュメント前。シジミ蝶が飛ぶ、ヤブガラシが広がり、その下には謎の丸い葉群が広がる。

池寄りの柳のそばに小さなピンクのタチアオイが咲く。虫の音が聞こえる。大きな株の方のタチアオイは新しく出てきた 60~70cm 丈の緑の葉がついた茎のところに花が咲く。元の茎は茶色の立ち枯れ状態。

池の中の鉢にガマの穂。カジノキ。赤い花のタチアオイ。ヒメジオン！幅 3cm 位の細長い葉は何？キビ？帰りにスマホで調べるとセイバンモロコシと出た。地中海原産、1943 年に千葉県で発見、若い葉、先端の葉に青酸が含まれ、トウモロコシやサトウキビ畑の強害雑草。

集合地に行く手前に三角州みたいになった植え込みがある。イチョウの木がある。地面スレスレに切られた新しい切り株発見。切り株の真中は粉というか粒というか、中が虫にやられてしまったんだ。

荷台のついた小さな車が来る。荷台には枝や木がのっている。どうやらガンジシ像そばの桜の木を地面スレスレにまで切りに行ったよう。

集合地南の植え込みの中に、ドバト 20 羽がお休み中。日陰で気持ち良い。風が強い。交差点の所のイチョウの木の中に桜がついている木を見に行くと、下の植え込みにヘクソカズラのつると花を見つける。花名とは違って、花はとてもかわいい。

## 集合地

園案内の看板前。西側に白いタチアオイの花がてっぺんに見える。あとは実になっている。カンナは東と西に葉を伸ばし、真中に菊の葉が広がり、そこに混じってしぼんだ花のオンシロバナが広がる。オンシロバナはもう閉じたんだ。

蓮は手前に茶色や黄色の葉が見える。茶色のハチスも見える。

南側のキシウブがあったところ付近はヒガンバナの蕾が多数みられる。花の色は白らしい。

ピンクの花で紫色の葉のカタバミ(オキザリス トライアングラリス)。伊豆吉野(桜)の枝先が針のように見える。寄生植物にやられた？と思ったが、Sam さんに「葉が食べられて葉の軸だけが残っているのよ」と言われた。よく見ると、枝の少しずつがやられているのではなく、2-3m に広がるひと枝全部がやられ、何本もの枝がやられているのがすごい。誰が食べたのか？

Ko さんに言われて蓮の葉柄にさわると、トゲがある。枝元の方から葉の方へ指を動かすと良くわかる。

## 野音

イヌビワは、1cm位の黄色い実。落羽松は緑のおだんごみたいな丸い実が枝先にぶらさがる。シマサルスベリは幹が茶色と白のまだら模様。ちょっとさわると凸凹は感じなかったがSamさんに「茶色の部分がはがれ落ちる」と言われて、もう一度さわり直すと、確かに茶色の方を指でこするとはがれる。シジミチョウ、黄色の花のカタバミ。

## 浮き橋

大きなトンボがグル〜と回って飛ぶ。「ギンヤンマ」と潔。ここから蓮池を見渡すと、奥、池の北側は緑の葉、池の真中辺は黄色っぱい、手前は茶色。集合地で見ると、蓮の背が低くて見渡せる。集合地より、首をたれたハチスが多数葉の上に見える。

浮き橋を出て、

植え込みにギンギシ。虫の声が聞こえる。池そばの植え込みに赤い花のヒガンバナが多数あり、5本は咲いている。

いつも水が流れこんでいるところは、今日は水が出ていない。大きなコイ達と大きなクサガメ4匹が泳いで近づく。餌ねだり？

下町ミュージアム辺の池に沿って北向きに人が並んでいる。動物園弁天堂の方を見ると、そこには並んでいる様子は無い。Iさんが「客層が違う」と。若い人が多い。並んでいる人に声をかけてきいてみる。弁天堂のお参りです、と。今日はご利益が良い特別な日とのこと。何百人並んでいるのか？そのせいで池ふちの植物は見られない。

新しいトイレ前の広場。南に喫煙テントが設置されている。煙はもれっぱなし。ただの喫煙所！煙が外に出ないようにしてほしい！池の周りの手すりに付けられている禁煙案内との整合性はどうか？

ミュージアム北側、並んでいる人達の東側に車とテントの食べ物売りが並ぶ。3本の大きな木の西側半周にベンチがあって、そこで飲食するという事らしい。ちなみにその東側はトイレ有り。中には小さなステージまである。ただただイベント広場ということ。出店に、人はまばら。

枯れたキクモモは黒い枝だけ。その北のタイリョウザクラは枯れた葉が残る。

弁天堂入口に巳成金大祭、令和7年9月21日と看板が出ている。チェーンで仕切って誘導人も付いて弁天堂までずっと人が並んでいる。

## 藤棚

入口のサンゴジュは切られて幹だけになった。日陰はのぞめない。ネコジャラシ。ワルナスビ。ジュズダマは白い実がつく。アシは穂が出てる。西南の端に赤いヒガンバナが咲く。トンボが飛ぶ、アキアカネ？カキは5cm位になった。タンポポ1輪咲く。弁天堂裏でアシの茎を折ってみる。白い粉がついて、薄茶色のビワコカタカイガラモドキがいた。弁天堂の裏は、大きい車が何台も駐車。

弁天堂を出て、

落羽松は緑の実が枝先にぶどう状にぶら下がる。上の方まで付いている。



蓮池とボート池の間の道を南下

ボート池側で、草にとまったシジミチョウが交尾をしている。上が白っぽく、下が薄茶色。もう1匹白っぽいのが来て、その下にとまったり、離れたり。「上が雄、下が雌」と Sam さん。

ボート池でカルガモ 1 羽、羽づくろい。他に 2 羽が水面に、2 羽が陸に。タンポポ 1 輪。

ボート池南のひっくり返したボート手前の池ふちに植物 3 種が池につき出ている。桑、アキニレ、セイタカアワダチソウの咲き終わり、と潔。

風が強い。

蓮池のハスの葉の中に、筋だけ残している葉を I さんが見つける。Sam さん「食べてがあるけど、何が食べているのかしら？」Ko さんに問う。答えはまだ無い。不忍通りからワッショイ！のかけ声が響く。今日は根津神社のお祭り。

## テラスで

コサギが南から北へ飛ぶ。ムクドリ 10 羽位のひと群が池の東へ飛ぶ。

## <Ko さん 蓮の話>

蓮には一重、八重そして多頭蓮がある、と多頭蓮の写真を見せて下さる。蕾の大きさは変わらないが、咲くと、中に 4 つの花の塊が見えて、それを取り囲むように花びらがある。一重、八重は朝に花が開いて、夕方には閉じて、翌日朝また開くとなるが、多頭蓮は閉じない。開いて、開いて、開いて、外側の花びらから散って行く。そしてある程度たつと枯れてしまう。雄しべ、雌しべが全部花びらになっているので、受粉はできず、種もできない。蓮根で増える。多頭蓮の花びらはとても薄い。花びらをのせた新聞紙の字が読めそうなくらいに薄い(写真を見せてもらった)。ハスの実は固い殻に守られていて、発芽は難しいが、固い殻故に何年も生き続ける。実は緑の内に取ると、薄い皮なので手でむいて中の白い実を食べられる。ほんのり甘い。よく売られているお菓子の蓮の実は中国産。今日の写真は霞ヶ浦で栽培されたもの。

## 2025年10月の活動 不忍池 定点観察 10月12日(日)より

台風が近づくという前日、一昨日からの涼しい気温から一転、蒸し暑さが戻って来た日曜日、朝の曇りから昼前に

### しのばず自然観察会 50 年史の進捗状況

50 年史の制作は、2 校の段階に入ってきました。初校であがった多数の修正箇所の点検と、初校後の追加事項が少しあります。また、全体の規模(ページ配分)の確定、表紙・中扉・目次等の作成なども作業としてあります。特別の大幅な変更がなければ、3 校で校正終了、印刷に回す手はずです。

見積もり時と比べ、ページ数の増加による費用増が数万円分見込まれますが、大幅な増額には至らずに済む見込みです。

ところで、しのばず自然観察会創立 50 周年記念イベントの開催については、会外からはぜひ集いをやってとの声をいただいています。年内は 50 年史作成と配送作業に追われそうなので、年明けに検討を伸ばしたいと思います。50 年史付録の上野公園アーカイブ写真集作成のための企画等にも取り組むことになります。(小川潔)



カイツブリ

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円

\*\*2024年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*